

ちゃぶ台次世代コーホート（第 7 回研修会）開催要項
同 Advanced Course（第 10 回研修会）開催要項

- 1 趣 旨 教職志望学生と若手教員等が、教員としての資質能力の向上、教職実践課題の解決力や省察力等の醸成を図ることを目指した協働型教職研修を行う。
特に、授業づくり、授業実践における学びの捉えやカリキュラム・マネジメントに関する講義、受講生相互の交流や対話等をとおして、教職キャリアの形成や充実深化を図る。
- 2 主 催 山口大学教育学部・大学院教育学研究科（教職大学院）
独立行政法人教職員支援機構、同 山口大学センター
- 3 共 催 山口県教育委員会、山口市教育委員会
- 4 開催日時 令和7年3月15日（土） 13:00～17:00
- 5 開催場所 山口大学教育学部「21 番教室」（教育学部講義棟 2 階）
〒753-0831 山口市大字吉田 1677-1
- 6 参加者 教職志望学生、教職大学院生、現職教員、教育委員会等関係者、大学教職員等
- 7 研修内容
 - (1)開会行事 (13:00～13:10)
あいさつ 山口大学教育学部 学部長 鷹 岡 亮
 - (2)講 演 (13:10～15:40)
テーマ 「教科と探究をどうつなぐか ― 対話型論証を中心に ―（オンライン）」
講 師 京都大学大学院教育学研究科 教授 松 下 佳 代 さん
 - (3)ちゃぶ台対話 (15:50～16:50)
内 容 「1 年間を振り返って ～1 年の歩みと新たな問い～」
支援者 山口大学センター・教育学部・教育学研究科教職員等
 - (4)まとめ・閉会行事 (16:50～17:00)
講 評 山口県教育庁教職員課 管理主事 丸 山 茂 生
あいさつ 教職員支援機構山口大学センター センター長 和 泉 研 二
8. 「感染症法（感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律）」にもとづく取扱（お願い）
 - (1)本研修では、主催者として「感染防止の 5 つの基本（厚生労働省 ADB,2023.3.8）」を参考として感染予防に努めるとともに、受講者一人一人に感染防止に向けた責任ある行動を要請する。
 - (2)研修地域や受講者居住地の感染状況や推移、研修関係者の意向等をふまえて、研修形態を「対面・参集型研修」から「（完全）オンライン研修」等に変更する場合がある。
9. その他
 - (1)本研修事業は、独立行政法人教職員支援機構地域センター（山口大学センター）事業経費および山口大学教育学部「ちゃぶ台プログラム」事業支援経費等により運営される。



コーホート

18年目のHop! Step! Jump!

ちゃぶ台次世代コーホート通信
山口大学教育学部（ちゃぶ台方式教職研修部）
ちゃぶ台次世代コーホート事務局
山口県山口市吉田1677-1

授業づくりや幅広い教育課題のワークショップ、課題研究発表等の講座の中で学び合いました！

本年度第6回のコーホート研修会（Advanced course第9回研修会）を、大雪が降りましたが、2月8日に山口大学教育学部にて開催できました。今回は受講生のみなさんややまぐち総合教育支援センターの長期研修教員のみなさんが、授業づくりや幅広い教育課題についての講座を開いてくれました。参加者は、午前は受講生〔発表者も含む〕52人（現職教員34人、学生17人、高校生1人）、大学スタッフ・関係者16人、計68人でした。参加者の振り返りを通して、研修会の様子をお伝えします。



第1部：13:10～14:15

【22番教室】発表者：ちゃぶ台次世代コーホート参加者・まなびのつながりプロジェクトメンバー

まなびのつながりを生み出すために、学生の私たちが県内の高校生と取り組んでいること

山口大学教育学部小学校総合選修	2年	原田 稔生 さん
山口大学教育学部小学校総合選修	2年	中山 晃希 さん
山口大学教育学部小学校総合選修	2年	藤田 隼智 さん
山口大学教育学部小学校総合選修	2年	山本 颯人 さん
山口大学教育学部情報教育コース	2年	柏原 朝陽 さん

なんとなく毎日を過ごしていた私の大学生活とは大きく異なる発表で、発表していた大学生はとてもキラキラしていた。大学生の自分に見せてあげたいと思った。PDCAサイクルがしっかり回っていて、大学だけでなく高等学校などと連携する体制は学ばなければいけないと感じた。まさに地域連携の実態を学ぶことができた。（小学校教諭）



自分たちが「したい!」と思ったこと発で活動を始め、初めは身近からどんどん縁の輪を広げていっているのが素敵だなと思いました。特に、大学生側のメリットも問いただしているところが大事だと思い、私も今後何かをする機会があれば、双方のメリットを見出せるようにしたいです。また、「つながりを生み出した後にそれをどう持続的なものにできるか」というのが私の中で課題だったので、一度きりで終わらせず次に活かしている先輩方のお話はとても参考になりました。2つしか歳が変わらないのに、堂々と抑揚をもって発表をする先輩たちがかっこよかったです!ありがとうございました。（高等学校3年）

大学1・2年生を中心に悩みながらこの活動の充実と、存続のために努力してきたことが伝わりました。学年や学部、校種をこえてたくさんの方がかわかりあってこの活動が進められていることに意義を感じます。（大学院1年）

自分が高校生だったら、自分の担任する小学生が高校生になったら、我が子が高校生だったら、このような活動が行われていたら幸せだなと感じました。つながりは無限の可能性を生むと思います。そのつながりを生み出す機会を、自分たちの手でつくりだしている点がステキだなと感じました。（小学校教諭）

【23番教室】発表者：ちゃぶ台次世代コーホートAdvanced course参加者

主体的な学びにつながる対話を体験しようー自己のキャリアプランニングを通してー

山口県山口市立平川小学校 教諭 白石 真也 さん



「自己紹介シートと人生グラフを書くことによって自分が話したい内容は何かを整理することができ、書いた紙を用いて話す中で、書いた内容から膨らませていくことができた。聴き手側も相槌やリアクションをしながら聞いたり、紙を見ながら随時質問したりと、設定時間では足りないほど有意義な対話を行うことができた。ツールの活用以外にも”話したくないことは話さなくていい”ということが全体で共有されているからこそ、話し手も聴き手も紙に無記入の部分があっても気にすることなく、対話を楽しめた。1対1での対話体験を通して、話す内容を整理するツールの重要性を実感するとともに、話し手の不安要素を取り除き、無理をせず可能な範囲内で行える手立てをもつことが主体的な学びに繋がる対話に繋がると学んだ。対話を行うときの向きや机の有無など場の工夫を施すことによっても話しやすさが変わってくることを知り、これから教壇に立って対話する活動を行う際には、活動内容や子どもの実態に合わせた環境をつくっていくことを意識していきたい。また、親や先生には、言いづらいことでも、地域の人など斜めの関係性の人にてであるとざっくばらんに話をするのできるため、子どもたちに様々な人と対話をする場を設けることも大切だと感じた。（大学3年）

【24番教室】発表者：ちゃぶ台次世代コーホート参加者

＊教職志望学生・教職経験1、2年目の教員対象

1年目教員が語る学校現場の真実～怒涛の日々をどう乗り越えるか～

山口県岩国市立由宇中学校

教諭

田出 有人 さん



1年目の教員だからこそその視点で様々なお話を聞くことができた。特に、内側からのアプローチを大切にするという視点は自分にはないものだったので参考にして将来につなげたい。（大学4年）

初任者の方でありながら、学校の強みや課題を整理されていて、刺激を受けました。強みであるコミュニティ・スクールの取組を発展させつつ、課題となる取組については改善を図り、しかも、自分だけの考えだけでなく、昨年度の現状を踏まえて動いていて、本当にすごいなと思いました。

先輩教員や管理職の方々に助言をいただくこともあるようですが、謙虚に受け止めつつ、自己の想いや見方・考え方をしっかりと伝えられていることが伝わってきました。これからの教育現場に必要な人材だと感じました。へこたれず、頑張ってください。（中学校教諭）

【41番教室】発表者：ちゃぶ台次世代コーホートAdvanced course参加者

複式指導の算数基礎基本ークラスに2つの学年がいてどう授業を進めるの？ー

山口県下関市立吉母小学校

教諭

岩貞 太祐 さん



複式の授業についてお話を聞いたのが、私にとっては新鮮で、多くの気づきを得る機会になりました。

一回の授業で、直接指導をされるのが2回と言われており、そのことが私にとってとても衝撃的でした。複式の授業において、先生はもっと学年間を行ったり来たりするものかと思っていました。2回と限られているからこそ、子どもたちに見通しをもたせる支援や、学びを深める問いが大切だと感じました。

今回学んだ複式の授業で大切なことは、通常の授業でも大切なことだと感じたので、新たな視点をいただけた気がして、面白かったです。（小学校教諭）

複式学級の基礎・基本から解説する内容であったため、学生さんや複式学級未経験の先生方にとっては、予備知識としてとても有効なものでした。自分のキャリアを振り返り、経験を意味付けられている姿が印象的で、自己の専門性を自覚化することにもつながられる「キャリアプランニング」の要素も多分に含まれていました。教師の学び続けることの大切さがよく伝わる講座でした。（小学校教諭）

【42番教室】発表者：ちゃぶ台次世代コーホートAdvanced course参加者

自閉症・情緒障害学級における一人ひとりの良さを活かした自立活動の実践ーキャリア教育の視点を活かしてー

山口県山口市立小郡中学校

教諭

和田 剛志 さん



私は特別支援＝支援するというイメージがあったため、先生がおっしゃった「不必要な支援」という言葉がとても印象に残った。生徒たちが主体的に活動を進めていきながら成長していく事例についてお聞きする中で、私が将来教員になった際、生徒たちにどのような活動を提案し、またどのように支援・見守りをしていけばいいのだろうか考える良いきっかけとなった。（大学1年）

素敵なお店や本当にあるお店のようなクオリティの高い文化祭の出し物の一例を見ることができた。計画をしたり南総合支援学校に視察をしたりと、子どもたちのやりたいことのイメージが明確化できるように準備されていて、子どもたちが主体性を持って取り組むことができていた。また、人生すごろくを通して子どもたち自身が人生において他者との関わりが大切だということに気付くことができていてすごいなと思った。

全体を通して、子どもの未来を見据えたりアリティのある活動が多く盛り込まれていた点が印象に残っている。子どもの良さや得意なことを生かし、みんなで協力して何かを成し遂げることができるような活動を見ることができた。今回学んだことを学校実習や現場に出た際に参考にしたい。（大学院1年）

【43番教室】発表者：やまぐち総合教育支援センター長期研修教員

生徒一人ひとりが学びやすい授業づくりに関する研究

ー高等学校における授業のユニバーサルデザイン化を通してー

山口県立美祢青嶺高等学校

教諭

原田 加奈 さん



ユニバーサルデザインの授業のポイントとして、焦点化・共有化・視覚化の3つが挙げられていた。実際の事例の紹介を聞き、高等学校でも「分かりやすい」授業を行うことができることについて学ぶことができたので、ぜひ実践してみたい。（大学4年）

これまで勤務経験のある山口県立美祢青嶺高等学校の事例から、自身の授業や学級経営の在り方について考え、省察することができた。

（高等学校教諭）



第2部：14:30～15:35

【22番教室】発表者：やまぐち総合教育支援センター長期研修教員

自ら問題解決に向けて動き出す児童の育成をめざした小学校算数科の指導に関する研究 ー学習を調整する力を育む自由進度学習を通してー

山口県宇部市立東岐波小学校 教諭 福田 真之 さん



「自由進度学習」は最近よく聞く言葉で、校内でも手探りで研修していたことだったので、具体が知ることができて大変勉強になりました。子ども自身が学びを調整できるように、自分の学びを見つめたり、つまずいたときにどう対応したらよいか、支援する一例を知ることができてよかったです。また、授業で振り返りの意義について一緒に考えたり、振り返りのタイミングで次の授業の目標をたてるというのが印象的で、私も実践してみたいです。
(小学校教諭)

「自由進度学習」の具体を知ることができた講座でした。個別最適な学び・協働的な学びが広がっている中で、新しい学び方を知ることができました。これまで、教師が教えること＝授業という固定概念をもっていました。しかし、子どもが学ぶ＝授業、学びの主体は「子ども」であることに改めて気付くことができた講座でした。自由進度学習にチャレンジしてみたいです。
(小学校教諭)

実践研究の具体をお聞きしながら、振り返りやめあての意味について、子ども達との共有が足りなかったなと気付くことができました。意味のある振り返り、子どもたちの主体性を伸ばすツールとするために、しっかり共有していきたいです。
(小学校教諭)

「自由進度学習」という言葉が一人歩きしているような感じがする中で、子ども一人にフォーカスをあてて研究を振り返られている点がステキだなと感じました。抽出見の変化がとても心に残りました。教師が教える授業から、子どもが学ぶ授業へと、授業観を転換することが大切だなと感じました。取り入れられるところから取り組んでいきたいです。
(小学校教諭)

【23番教室】発表者：ちゃぶ台次世代コーホートAdvanced course参加者

先輩からのアドバイス（卒業前から年度始めの動きについて） ー小学校の年度始めってなにすればいいの？ー

山口県下関市立吉母小学校 教諭 岩貞 太祐 さん



教員になってからの動きについてはわからにことが多かったのでとても参考になった。また、教員として仕事をするうえで必要となるものについても知ることができたのでしっかりと準備をして教員として仕事を円滑にできるようにしたい。
(大学4年)

不安だったことが解消された講座でした。他の先輩方に聞いても「何とかなるから今は遊んどきな!」と言われたのですが、4月までにできる具体的なことを教えてくださったおかげで、明確な道筋が立てれたような気がします。4月から教員として教壇に立ちますが、胸張って頑張っていきたいです。本日はありがとうございました。
(大学4年)

新任にあたっての心構えややっておくと良いことなど、知りたいことを知ることができる会で非常に助かりました。子どもたちとの関わり方や、教室環境、職員との関わり方に至るまで、こと細やかに説明してくださって、ありがたい一言に尽きます。現場に出てからのこともだし、現場に出るまでの準備をしっかり行っていきたいです。
(大学院1年)

【41番教室】発表者：ちゃぶ台次世代コーホートAdvanced course参加者

人材育成につながる校内研修の在り方

山口県周南市立富田東小学校 教諭 松田 真実 さん



一緒に人材育成の手立てのアイデアを創出する講座で、とても有意義な時間になりました。校種の違いや学部生との交流は、多様なニーズをアセスメントする機会となり、学びが最大化される協議が生まれました。この講座のアイデア提案が、研究の進展に貢献できる構成になっていたことが、メンバーとして一緒に考える意義になっていました。今後の松田先生の研究が加速し、アイデアが生かされることを願っています。
(小学校教諭)

松田先生、研修に参加させていただきありがとうございました。松田先生の取組を聞かせていただいた中で、「自分が自分を育てる」「自分で選んで研修を進めていく」という考えや取り組みがとても心に残りました。そして、このような取組が他の学校でも広がったり、意識改革が進んだりすると、さらに教職員の主体的な研修につながると思いました。また、グループ協議の中で、小学校、中学校、高校、教育支援センター、大学職員の方などの様々な立場から研修について意見交換ができた中で、自分自身が研修について考えを深めていくよいきっかけとなりました。今回、山口大学内でのちゃぶ台研修に初めて参加させていただいたのですが、参加者にも発表者にもメリットがあり、すてきな場だと感じました。このような場を創り、支え、サポートくださっている方々に感謝です。ありがとうございました。
(小学校教諭)

【42番教室】発表者：ちゃぶ台次世代コーホートAdvanced course参加者

道徳教育を核とした学級経営の在り方について

山口県宇部市立藤山中学校 教諭 中島 誠忠 さん



道徳は難しい。どうしても教師は答えを導こうと無意識にしてしまう。道徳に限らず、普段から子どもたちの意見をどう受け止め、返し、考えさせるのか、教師が見つめ直さなければならない。

(特別支援学校教諭)

自身が中学生だった頃を思い返しながら、「教室の掲示物」についての先生方の様々な意見を聞くことができ、とても有意義な時間となった。しかし、教室の掲示物をどのように活用していけばいいのか私の中にまだ答えが出てきていないので、これから様々な学校現場を見学させていただく中で考えていきたい。

(大学1年)

【43番教室】発表者：やまぐち総合教育支援センター長期研修教員

自ら学習を調整することができる生徒の育成をめざした学習指導に関する研究 －振り返りを次の学習につなげる実践を通して－

山口県周南市立岐陽中学校 教諭 大谷 友香子さん



受講して、「学習を調整する力」はとても大事なものだと感じました。大きくなるにつれてどんどん自分で計画も実行もしないといけなくなってくるけど習うものでもなかったから、学校の授業で先生のファシリテーションがありながら身に付けられるっていうのは凄くいいと感じました。特に振り返りは、中学生までは感想かその1回の授業で完結して次に繋がるものではなかった気がするので、そのサイクルの考え方を中学校までに教わらなかったー!と思いました。

大谷先生の、「アイデア100本ノック」や「can/want/willのリフレクションシート」など色々なものを取り入れて試してみる姿勢はかっこいいなと思ったし、とても刺激になりました!ありがとうございました。

(高等学校3年)

「振り返り」について、研究を進められており、それこそ、これまでの自己を「振り返る」ことができました。

「振り返り」とは「(授業の)目的、意味、価値の再確認及び課題の整理を通して、未来につなげる活動」だと考えています。講師の先生の研究は、そのための様々な仕掛けをしたり、リフレクションシートを工夫したりされており、授業に生かせる内容ばかりでした。「自らの学習を調整する力を子どもに育てたい」と話されていました。その内容を聞いたとき、「自ら(講師の方)の研究をどのように調整していたのだろうか」という問いが生まれました。子どもたちはもちろん、研究協力者との調整、そして自分自身をどのように調整(マネジメント)していたのかを聞きたかったです。

(中学校教諭)



第3部：15:50～16:55

【22番教室】発表者：ちゃぶ台次世代コーホートAdvanced course参加者

あの子が学んでよかったと思える国語科授業をめざして

山口県防府市立華城小学校 教諭 村本 涼 さん



教育実習で国語の授業をしたことがあるのですが上手くいかなかった経験があり、それから国語の授業づくりって難しいなと少しマイナスな気持ちを持っていました。しかし、今日の講座に参加して、子どもたちのためにつくる授業ってこんなに面白くて深いんだと感じました。自分中心ではなく子どもたちの反応を予想しながらつくる単元を見通した授業を私もつくりたい!やってみたい!と思いました。

4月から実践していきます。ありがとうございました。

(大学4年)

単元を通した子供に身に付けたい力や思考の流れ、そのための問いの立て方を考えていくという、単元でストーリーを組み立てていくことで、一つ一つの授業が繋がりをもって子供の国語科の見方・考え方にたどり着いていくのだと学んだ。子供が言葉にこだわって教材を読めるように、いろいろな仕掛けをしてもらえるのだと、先生自身が教材と語り、子どもと語ることを楽しんでいることがよく分かった。

(小学校教諭)

改めて国語科で身に付けたい資質能力について考えることができた。授業における工夫のヒントを学ぶことができた。

(中学校教諭)

【23番教室】発表者：ちゃぶ台次世代コーホート参加者

3年目の小学校教諭が伝えられること

一学部生・教職大学院生・小学校教諭としての

算数科を中心とした教職キャリア形成の道筋—

山口県岩国市立灘小学校 教諭 山本 拓実 さん



現職の先生と近い距離でお話を聞き、またたくさんの質問にも答えていただき、本当に有意義な時間となった。特に、約一年間学校チューターの活動をする中で生じた疑問や不安を現職の先生に直接お聞きできたのは私の中でとても安心材料となり、来年度からも学びに励んでいこうと思うことができた。また先生の本棚の写真からも、私にはまだまだ学習不足だなと感じることができ、自分からいろいろなことを学んでいきたいと思うことができた。

(大学1年)

生徒が「分かった」や「見つけた」と実感できる授業をつくる大切さについて、学ぶことができた。教員が一方的に教えるのではなく、生徒の言葉を大切に授業を進めることができるようにしたい。

(大学4年)

【41番教室】発表者：ちゃぶ台次世代コーホートAdvanced course参加者

AIハック ～AIと学校現場の親和性を探る～

山口県防府市立右田小学校 教諭 松村 登志彦さん



AIの良さも悪さもこれまでの価値観によるものであり、もしかしたら悪い部分も当たり前の価値観にしていくなが必要なのかもしれない。これまでの見方や考え方を一度フラットにしてみる必要がある。

(特別支援学校教諭)

松村先生、本日は最新の情報をたくさん紹介くださりありがとうございました。AIや科学技術が日々進歩していることがよく実感できた時間でした。多様で進化し続ける技術を、使いこなせるスキルや、どのように効果的に教育現場に取り入れていくのかを選択していく力を身に付けていきたいと思いました。

(小学校教諭)

AIがどこまで進化しているのかとても分かりやすく学ばせていただきました。学校との親和性を探るためには、まず知ることが大事で、さらにそれを活用しなければならなくなる子どもたちにどんな力が必要なのかという視点をもって考えて行かなければならないと感じましたが、あっという間に進化していくAIが相手なので時間がないなと焦る気持ちでいっぱいになりました。

(小学校教諭)

【42番教室】発表者：ちゃぶ台次世代コーホートAdvanced course参加者

探究的な学びとは…

山口県萩市立萩西中学校 教頭 長岡 香世 さん



「探究的な学びとは何か」という問われた際に、私ははじめ、自分についての理解を深めた上で興味をどう社会課題と結びつけられるかだと考えていました。でもその後、わからないから問い続けることだと聞いて、確かにと思いました。わかったようでわからない難しいものだなと改めて感じました。私は中学時代、部活と遊びに全力投球していて進路についてもじっくり考えた機会がなかったけど、高校でプロジェクトに入って活動していく中で、多くの方のお話を聞かせていただいたり、思考を深めたり、挑戦したりできて、自分についてわかってきました。特に「わかっていない私」にたくさん出会えました。最近は、教育（特に探究）の知識が全然ないことを実感するようになって、色々な人の考えが聞きたいと思うようになりました。だから、今日この研修会に参加したい!と思いました。興味分野がわかって初めて学びたい意欲が高まってきました。

研修を通して、これが大事なのではないかなと経験から仮説を立てました。田舎はどうしても都会と比べてきっかけ格差があると思うので、まずは新しいことに出会える機会がひとつでも多くあるといいのかなと感じました。

探究について自分で考えるととても良い機会になりました。色々な立場の方々の考えも聞けて良かったです。ありがとうございました！

(高等学校3年)

「探究的な学びとは？」と問われ、「自己と地域・社会との関わりの中で、自己の生き方を考える。また、地域・社会の繁栄に貢献する活動」と答えました。ある参加者は「探究し続けること」「問い続けること」と答えられていました。

何が正しいのか分からない今日。何が正しいのか、適切なのかを考え続けることが「探究的な学びなのかな」と思いました。ディスカッションの時間を多く設定していただいたことで、そのような答えにたどり着くことができました。

(中学校教諭)



【43番教室】発表者：やまぐち総合教育支援センター長期研修教員

自他を認めながら関わり合う人間関係づくりに関する研究

－自他の理解を深める学びとその振り返りによる学級活動を通して－

山口県防府市立牟礼中学校 教諭 渡邊 弘子 さん



子どもたちが心理的に安心できる家庭での振り返りを行う、というところが特に印象に残った。改めて家に帰って振り返ることで、子どもたちの学びがより深くなる効果もあることを知り、私も授業での振り返りの仕方をもっと工夫していきたいなと感じた。今回行ったもやもやメーターは大学生同士でも行ってみたい。楽しくお互いを知っていくことができるような活動を私も考えてみたい。（大学3年）

学校の特色を踏まえて、今、子どもたちにどんな力が必要かを見極め、実践をされていて、先生の教育的愛情を深く感じました。学びも子どもたちも多様化している現代では、自他の違いを認め、いろいろな意見を受け入れることはとても重要なことだと、今回のお話を聞いて改めて感じました。もやもやメーターやサイコロトークを使って、楽しみながら、自分の気持ちを相手に伝える際に大切になる考えを学ぶことができたのではないかと感じました。

自分の気持ちを話すことや、こだわりのあり相手の気持ちや考えを受け入れることを苦手とする自閉症の子どもたちにも実践してみたいです。（大学院1年）

発表者の皆様、

素敵な学びを提供してくださり、ありがとうございました！



【発表者】

◇発表の機会をいただき、自分の実践を振り返ることができて、とても良かったです。貴重な機会をいただき、ありがとうございました。引き続き、研鑽に努めます。

◇発表の機会を与えてくださりありがとうございました。受講者に伝えることはもちろんのこと、発表の準備をする中で自分のこれまでのキャリアを振り返ることができました。自分の頑張りを認めることができるとともに、これからも頑張るぞ!と思えました。キャリア教育ってこんな感じなのかなと考えました。自ら手を挙げて改めてよかったなと思いました。ありがとうございました。

世代や経験の違いがある参加者が仲間となって学び合う場の素敵さを改めて事務局も実感しました！

今回はコーホート登録者（若手教員、学生）も発表をしてくださり、上の世代にも、同世代にも、またこれから教職に就くために進学しようとしている高校生に、多くの刺激を与えてくれました。また、いつもAdvanced coursedの登録者のみなさま、素敵なお取組を発表してくださったり、学生の相談にのってくださったり、本当にありがとうございました。

いつもは教職大学院学校経営コースの院生に講師の方への謝辞を述べてもらっていますが、今回は、教職大学院のストレートマスターや学部生に謝辞や感想を述べてもらうようにしてみました。みなさん、とても素晴らしい謝辞や感想で、自分の学生時代を振り返っても、そんなコメントは絶対に言えない！これからの教育の未来は明るい!と感じました。

本年度もやまぐち総合教育支援センターの長期研修教員のみなさまにもご発表いただくことができて、登録者に学びを提供してくださりありがとうございました。今後ともよろしくお願いいたします。



今回も研修行事における「託児サービス」を実施しました！

「ちゃぶ台次世代コーホート」では、「一時預かり（託児サービス）」を、就学前の子どもを対象として実施しています。

受講生からの要望があること、主催者（組織）として「学び続ける教員」の育成や教職キャリアの形成支援には欠かせない課題、子育て支援や働き方改革に資する課題と捉えていること等をふまえ、昨年度より実施しているものです。

